

コンクリート充填補修材

クラッククリクレ

Ⅲ型セット / V型セット



微細クラックから、建物を守ります！

Pioneer Chemistry Industry
パイオニア化学工業株式会社

コンクリート 充填補修材

クラックリフレ

水の分子により近く設計された「クラックリフレ」は、微細なクラックにスムーズに浸透し、中性化したコンクリートを正常な状態にリフレッシュさせます
超微細なクラックに有効な「Ⅲ型」と、0.7mm前後の微細なクラックに効果的な「Ⅴ型」の使用で、建物の劣化を未然に防ぐことができます

クラックリフレⅢ型セット

主剤:硬化剤=3:1

〈標準対応範囲〉

30m用:壁厚60cm:クラック幅0.05~0.5mm



特徴

- 0.3mm以下の超微細なクラックにも浸透して封止・密着・固定化し、コンクリート建造物と一体化します
- 施工時の気温は5℃以上30℃位の範囲で使用できます

セット内容

- クラックリフレⅢ型(4kgセット)…1ケ
- クラックスケール……………1枚
- 台座兼用タンク……………50ケ
- 注入ガン……………1ケ
- 洗い油……………1ケ
- 仮止めシール……………6ケ
- ヘラ……………1ケ
- ブラシ……………1ケ
- エフロナイン……………1ケ

施工要領

1. 下地の確認



クラックの幅・長さと言壁の厚みを測定し、状況を確認してください。

ポイント

クラック裏面への貫通の有無を確認し、貫通している場合は裏面もシールしてください。

2. 清掃

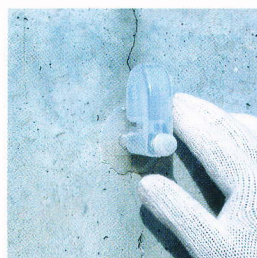


施工部分をワイヤーブラシやウエス等で清掃しプロアー等で埃やゴミがクラック面に残らない様にしてください。

ポイント

油分がある場合はラッカシンナー等で脱脂してください。

3. 台座の取り付け

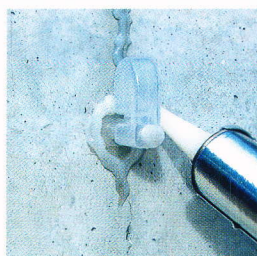


付属のシール材を注入器の台座部分に貼付してクラック部分が台座の中心になる様に取り付けてください。

ポイント

注入器の台座は250mm間隔で取り付けてください。

4. シール材の塗布



クラックに沿って幅2~3mm厚さ2mm程度に塗り付け、付属のヘラで平に均一化してください。

ポイント

シール材は台座の上にも覆い被さる様に塗布してください。24時間養生してください。

昨今、大きな社会問題となった構造設計疑惑によって、耐震強度に対する関心が全国規模で高まりました。住まいや職場の耐震強度に対して不安を抱く人たちが急増し、公的機関などによる調査が行われています。しかし、耐震強度に関する基準はクリアしたものの、その調査において多くのクラックが発見されたという事例が多々あります。

クラックは、酸性雨によるコンクリートの中性化やアルカリ骨材反応などから起こります。特に冬場の凍結・融解現象は微細なクラックの幅を倍々と大きく成長させ、建物を劣化させていきます。

建造物をこのような劣化からまもるためには、初期段階のクラックを速やかに充填補修する事が最善の対処法といえます。



クラックリフレV型セット

主剤:硬化剤=2:1

〈標準対応範囲〉
30m用:壁厚60cm:クラック幅0.4~1.0mm

特徴

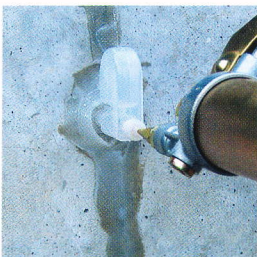
- 0.4~1.0mmのクラック、ハクリに最適です
- 施工時の気温は5℃以上30℃位の範囲で使用できます
- 皿型から比べて比較的分子の大きな二液性で、クラックの奥深くまで浸透します
- クラックの固定化した後には、油性塗料が塗布できます



セット内容

- クラックリフレV型(6kgセット) ... 1ケ
- クラックスケール ... 1枚
- 台座兼用タンク ... 50ケ
- 注入ガン ... 1ケ
- 洗い油 ... 1ケ
- 仮止めシール ... 6ケ
- ヘラ ... 1ケ
- ブラシ ... 1ケ
- エフロナイン ... 1ケ

5. 材料の注入



付属の注入ガンでノズル注入口に材料を入れてください。皿型は重量比で主剤:硬化剤=3:1、V型は重量比で主剤:硬化剤=2:1でまぜてください。

ポイント

1個あたり20ccを上限とし、横のライン以上に材料を入れしないでください。他に漏れがなく材料が減っている場合必要に応じて足してください。24時間養生してください。

6. 除去



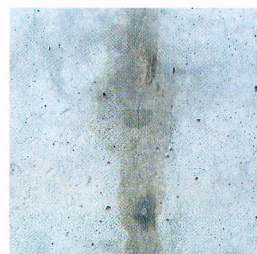
スクレーパー等を用いてシール及び台座を撤去します。

7. 注入完了



材料が内部に浸透している事を確認してください。

8. 最終仕上げ



必要に応じてクラック部分の補修をしてください。

クラックリフレ III型セット/V型セット

性状及び物性

		III型	V型	JISA6024品質規定
外 観	主 剤	透明液状	透明液状	—
	硬化剤	淡黄色液状	淡黄色液状	—
比 重	23℃	1.07	1.09	—
可使時間(分)	300gスケール	25	30	—
粘 度 mPa・s	20±0.5℃	90	300	低粘度100~1000
初期硬化性 N/mm ²	標 準	4.9	5.4	2.0以上
接着強度 N/mm ²	標 準	8.2	8.3	6.0以上
	低温時	6.5	6.7	3.0以上
	湿潤時	8.0	8.1	3.0以上
	乾湿潤繰り返し時	7.1	7.3	3.0以上
曲げ強さ N/mm ²	—	60	65	30以上
引張り破壊・伸び %	—	1.1	1.1	10以下
引張り強さ N/mm ²	—	24.5	26.5	15以上

施工上の注意

1. 乾燥させた状態で注入します

前処理でエフロを除去する時は水を大量に使いますので、十分に乾燥させた状態にしてください。

● 気温の高い夏期の場合

バケツに冷水が流水などで30分以上冷却し、25℃位にしてから使用します。可使時間は約30分です。

● 気温の低い冬期の場合

5℃以下の場合は中止してください。5℃以上でも硬化時間が極端に遅くなりますので、バケツにお湯で温め20℃位にしてから使用します。可使時間は約30分です。

2. 養生

養生時間は夏期12時間、冬期24時間です。その間に衝撃や振動を与えないでください。

注入ガンについて

- 注入ガンは作業の中断や終了時には分解して、専用の洗い油で洗浄してください。
- 注入ガンのパッキンは市販品で対応しています。お取り替えの際はDIYショップ等でお買い求めください。

取り扱いの注意

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- よく換気をし、蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 作業中は飛散・流出しないように留意し、万一飛散・流出した時には、布やウエスなどで直ちにふき取り、水を入れた容器に保管してください。
- 作業中は出来るだけ皮膚に触れないようにしてください。必要に応じ、有毒ガス用防毒マスクや送気マスクをつけ、頭巾・防護眼鏡・長袖の作業衣・襟巻きタオル・保護手袋などを着用してください。
- 作業終了後は石けんで手を洗い、うがいや鼻孔洗浄などを充分にしてください。
- 作業衣などに付着した汚れは良く落としてください。
- 保管は日光の当たらない比較的涼しい所に貯蔵してください。
- 廃棄するときは、中味を全て使い切ってから処分してください。
- 廃液・汚れた台座・シール材などは、関係法規に基づき適切に処理するか、産業廃棄物業者に委託して処理してください。

安全上の注意

- 皮膚に付着した時は、石けん水で良く洗い落としてください。痛みや皮膚の外観に変化がある場合は医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合は、失明の恐れがあるので多量の水で洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ時は、出来るだけ早く医師の診察を受けてください。
- 火災時には、炭酸ガスの泡・粉末消火器を使ってください。水は絶対に使わないでください。

※詳細な内容が必要な場合には、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください

※記載内容は、製品改良等により断りなく仕様変更することがありますのでご了承ください

0807

Pioneer Chemistry Industry
パイオニア化学工業株式会社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-8-16
TEL.03-3861-9081 FAX.03-3861-9944
http://www.pioneer-kagaku.com/
E-mail: info@pioneer-kagaku.com